

生産者名	鈴木正幸		
所在地	愛知県田原市	調査日	2018/2/21

### 花きの生産状況

生産品目	スプレーマム（菊）メインは白、黄色、ピンク（部会では60種類）
生産面積	ハウス2,000坪、苗場300坪
出荷量	約100万本/年
出荷時期	通年
消費形態について	知っている（葬祭業者）

### 花きの出荷について

出荷先	卸売市場（農協用）、その他（量販店等）
出荷形態	長さ80cm、箱に入れて出荷
生産・出荷割合	葬儀用：その他用 = 7~8：2~3
葬祭業者が求める花きの情報の入手方法	業者から直接情報を入手したり、市場を通じて情報を入手する

### 葬儀用を生産・流通の特徴について

- ✓ 葬儀用は花首がしっかりしていることが原則です。
- ✓ 情報収集は主に市場や農協を通じて行っています。情報をもとに部会で種苗会社に伺い品種を探したり、市場視察、勉強会などで色、品種を選定しています。
- ✓ 出荷量のうち白が40%、黄色20%、ピンク20%、残りの色が10%です。
- ✓ 農協を通じて卸売市場に出荷します。主要な葬祭業者とは年間相対取引で時期ごとの量と価格を決めています。

## 葬儀用花き導入の時期ときっかけ

導入時期	昭和末期ごろから
導入のきっかけ	たばことキャベツの露地栽培から転換 たばこの補助金がカットされたことを契機 に、スプレーマムの生産を開始

## 産地の現状と今後について

### 近況について

- ✓ 昨年の夏は日照不足だったので、前年比 80%の収穫量となり、80 cmの長さで、茎が太いものが少なく、東北、東京向けの確保に苦労しました。

### 今後の展望について

- ✓ 市場関係者に聞くと、スプレーマムは、まだ、需要が伸びるようです。
- ✓ スプレーマムは、菊のなかでも洋花に近いので、家族葬や一般葬など、色々な場面に使用できると期待しています。また、洋花と比べて単価が安いほか、一年を通じて買いやすく、小菊の代わりに、仏壇、お墓などにも使えます。さらに、色のバランスを考慮すると、用途の拡大が可能であると考えており、部会で様々な色を試作し、市場開拓を図っています。